

**放送日** 令和4年7月1日（金）  
**担当者** 税務課 主事 齊藤 拓海

おはようございます。総務部税務課の齊藤拓海です。

市役所に入庁して3か月が経ちました。最初は初めてのことばかりで不安でしたが、職場環境にも恵まれ、日々の問合せや窓口対応を経て、少しずつではありますが自身の成長を感じることができ、今では楽しく毎日を過ごしています。

話は変わりますが、私が入庁するとき、大学時代の友人や先輩に対し、私が市役所の税務課に配属になったことを伝えると、「あの齊藤が税務課か！」と笑いながら言われます。

思い返せば、私はこれまで『あの齊藤が』というフレーズを多くの場面で言われてきました。

しかし、私はこの言葉を言われるととてもうれしい気持ちになります。それは、相手の記憶している自分よりも今の自分が成長していることを表している言葉だと感じるからです。この言葉を言われると、自分が当時よりも成長したんだと実感することができます。

そういった自身の成長も、私に関わる周りの方々に支えていただき、温かく見守っていただいたからだと確信しています。

税務課でも、職場の皆さんがとても優しく、また多くのことを教えてくださり私は幸せ者だなと実感しています。

いつか、職場の方からも「あの齊藤くんが」と言ってもらえるよう、今後たくさん学んで日々精進したいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

**放送日** 令和4年7月4日（月）  
**担当者** 市民課 主事 三高 颯太

おはようございます。市民環境部市民課の三高颯太です。私はこの春、新規採用職員として、市民課戸籍・住基担当に配属されました。そして気が付けば、私がこの部署で働き始めて3か月弱の期間があっという間に過ぎてしまいました。

戸籍・住基担当は人が生まれてから、亡くなるまでの記録である「戸籍」、北広島市に住む市民の方々を登録する住民基本台帳業務、そして現在普及が広がっているマイナンバーカードの大きく三つの業務に分かれます。

はじめ戸籍・住基担当に配属されると知ったとき、私はあまり自分の働くイメージが思い浮かびませんでした。素朴に窓口で相談に乗っている自分の風景だけがぼんやりと思い浮かぶだけでした。実際に業務を任せられるようになっていくたびに、この市に住む方々の個人情報も多く取り扱い、そしていくつもの届出に触れていく中で、自分の持つ責任の重さを実感していきました。

ただ、この責任の重さは様々な業務に携わり、市民の皆様の生活を支えているという実感も同時に覚えることもできます。

まだまだ知識も足らず、今の自分ではできることは限られていますが、これからの毎日勉強を欠かさず自身を磨き、多くの業務に携わり、より市民の皆様に貢献できるようになりたいです。

**放送日** 令和4年7月5日（火）  
**担当者** 債権管理課 主事 齋藤 祐太

おはようございます。債権管理課の齋藤祐太です。

4月に入庁し3か月ほどが経過しました。仕事には慣れず戸惑うことも多いですが、先輩方の手を借りながら日々の業務に取り組んでいます。

私は債権管理課で納税を担当しています。納税が納期限に間に合わない方の納税相談や、納付や連絡がない方には差押などの強制処分を行うといった業務です。

最初は自分にはこんな難しい業務はできないと考えていましたが、周りの先輩に教えていただきながら、少しずつ仕事を覚えている最中です。

市民に直接感謝されるような仕事ではなく、むしろ罵声を浴びるような場面もありますが、税の公平性を保つためにも、地道に業務に取り組んでいきたいです。

また、今の初心を忘れず、謙虚な考え方で今後も業務に取り組みたいです。自身に与えられている権限が大きく、相手が税金を滞納しているという特殊な状況だからこそ、仮に業務に徐々に慣れてきたとしても、相手の背景を常に頭に入れながら、対等な立場で接していきたいと考えています。

**放送日** 令和4年7月6日（水）  
**担当者** 市民課 主事 船木 美優

おはようございます。市民環境部市民課の船木美優です。

4月に入庁して約3か月がたちました。今年の3月に高校を卒業し、4月から社会人として働いていくことに多くの不安がありましたが、周囲の方々に支えていただきながら充実した毎日を過ごすことができていると思います。

現在私は、自治会関係、平和の推進活動、交通安全など多岐にわたる業務に携わらせていただいています。学ぶことが多く、勉強の毎日ではありますが、先輩方の手を借りながら少しずつ成長できているのではないかと思います。

私が日々の業務を行っていくうえでの課題は、業務に必要な知識を身に付けることです。市民生活に関する窓口や電話での質問に対して、自分だけで答えることができず先輩に頼ってしまう場面が多くあります。ですが、これからは一人で市民の方の対応ができるよう、分からないことを分からないままにせず、学ぶ姿勢を大切にしていきたいです。

この他にも課題は多くありますが、市民の方から信頼していただける職員に成長できるよう、一日一日を大切に努力していきたいと思えます。

**放送日** 令和4年7月7日(木)  
**担当者** 福祉課 主事 早川 太貴

おはようございます。保健福祉部福祉課の早川太貴です。

これまで、周りの先輩方や上司をはじめとして、本当に多くの方々に支えられて充実した毎日を過ごしてきました。

4月に入庁してからあっという間に時は流れ、約3か月が経過しましたが、最近は改めてコミュニケーション能力の重要性を感じています。

私の業務内容は、生活に困窮した人に対して必要な援助を行っていく生活保護業務です。生活保護を受ける人には、老若男女問わず様々な人がいて、抱えている問題も人によって大きく異なります。そのなかで、保護受給者一人一人に合った適切な支援を行うには、対話し、抱えている悩みや問題を正確に把握する必要があります。

うまく意思疎通が図れなければ、相手が求めていることを把握できず、適切な支援につなげられません。逆に、コミュニケーションをしっかりととり、スムーズな対応ができれば感謝されることが多く、私自身もやりがいを感じるすることができます。

市民目線で市民の意見を聞き、それを生かせる職員を目指して、これからも職務に努めていきたいと思っております。

**放送日** 令和4年7月8日（金）  
**担当者** 債権管理課 主事 松尾 光輔

おはようございます。総務部債権管理課の松尾光輔です。令和4年4月に入庁し、債権管理課の納税担当として配属されました。今日のスピーチでは行っている業務と目標についてお話しします。

債権管理課では期限内に税金や料を納付する事が難しい方からの納税相談や滞納処分等の税金に関する業務を行っています。窓口や電話でのお客様対応が多くあり、相談される方によって置かれている状況が異なります。

その中でその方に合った説明や計画を立てる事が必要とされる事に難しさがあると感じています。滞納処分を行う際には行う処分とタイミングが適切かという事を自身で判断していく必要があります。現在は周りの先輩職員の方々に助けていただきながら、日々の業務に取り組んでいます。

私は市民の方々、一緒に働く職員、関わっていく人に信頼される職員を目標としています。この目標を達成するために、まずは全ての方々への丁寧な対応を心がけていきます。

市役所では異動もありますが今後も学び続ける姿勢だけは忘れずに業務に取り組んでいきたいと思えます。

**放送日** 令和4年7月11日(月)  
**担当者** 税務課 主事 小浦方 綸

おはようございます。今年の4月から総務部税務課に配属となりました小浦方です。

市役所に入庁してからあっという間に3か月が経ち、まだまだ未熟者ではありますが、上司や先輩方に支えていただき、温かく見守っていただきながら、何とか日々の業務に取り組むことができます。

つい先週のことですが、人との繋がりの大切さについて、改めて強く感じた出来事をお話いたします。私は本来、先週の月曜日にスピーチをする予定でしたが、体調を崩してしまい急遽お休みをいただいたため、職場の上司、先輩方や、スピーチの調整を行っていただいた担当の方にもご迷惑をおかけしてしまいました。自宅で療養している間は「なぜもっと体調管理に気を配れなかったのか」「社会人として恥ずかしいのではないか」という気持ちが強く、多くの方に迷惑をかけてしまったことに、とても落ち込んでいました。

しかし、課長や主査は「体調が少しでも優れない場合は無理して出勤しようとせずに、ゆっくり休んでください」「仕事は全部カバーするので安心してください」と、何度も温かい言葉をかけてくださりました。先輩方や同期も「早く元気になってね」「お大事にしてね」と励ましてくださりました。このような優しく温かい北広島市職員の皆さまと一緒に働ける今の環境が、とても幸せであるということ、人との繋がりがとても大切なものであるということを実感いたしました。

タテ・ヨコの繋がりをより一層大切にするとともに、自己研鑽を怠らず、体調管理も忘れずに、一日でも早く立派な社会人になれるよう、一生懸命頑張ります。

**放送日** 令和4年7月12日（火）  
**担当者** 高齢者支援課 主事 齋藤 佑平

おはようございます。保健福祉部高齢者支援課の齋藤佑平です。突然ですが、理学療法士という資格をご存知でしょうか。一般的には怪我や病気となった人にリハビリを行う医療専門職として知られ、動作の専門家とされています。

私はこれまで理学療法士として病院や野球チームで活動した経験から、一対一の介入よりも対象を大きく広げて資格を活かしたいと思い、行政職である市職員を志しました。

現在は介護保険の業務を担当しておりますが、人体を治療の観点で見えていたミクロな視点から、個々人の身体状況が見えにくいマクロな視点で対象者と関わる事となり、中々味わうことのできない新鮮な感覚で日々業務に取り組んでいます。

入庁からこれまで不慣れな事務作業に苦戦しながらも、周りの方に支えられながら次第に順応する事ができるようになってきました。

これからはただ業務を遂行するだけでなく、その役割を俯瞰的に捉え、北広島市や市民にどのような貢献が出来ているのか考えながら職務を全うしていきたいです。

また、理学療法士としてのアイデンティティを生かし、北広島市の医療福祉・スポーツの分野に大きな影響を与える人材になる為、広く貪欲に学び続けていきたいと考えています。



**放送日** 令和4年7月13日（水）  
**担当者** 福祉総合相談室参事（相談担当） 主任 西村 恵一

おはようございます。保健福祉部福祉総合相談室参事（相談担当）の西村恵一です。

私は4月1日に社会福祉士として新規採用となりましたが、これまでに10年間の社会人経験があります。

10年間で学んだことは、職場内において普段の風通しが重要だということでした。

社会人になり数年経過すると、業務に慣れてくることもあり、人に説明をするよりも一人で仕事をするほうが楽だと思い始めました。

しかし、業務量が増え限界を感じ始めた時になると、業務を1から説明するための時間や心の余裕がなくなります。

また、お願いされる方も、急に知らない仕事が増えることになります。

チームで業務にあたるためには、普段の業務の風通しや職員間のコミュニケーションがとても重要だと感じました。

自分を含めた北広島市民の生活の質を向上させることは、市役所がワンチームで取り組むことだと思っておりますので、多くの方にご協力をお願いし、また、反対に些細なことでも情報提供をいただけるよう、風通しの良い仕事を心がけたいと思います。

あなたの【気になる】が支援の第一歩です。

**放送日** 令和4年7月14日(木)  
**担当者** 子ども家庭課 主事 石岡 翔

おはようございます。今年度4月より採用になりました、子育て支援部子ども家庭課の石岡翔です。

入庁してから、子ども家庭課の皆さんは勿論、他の課の先輩職員の方にも助けていただきながらこの3か月、楽しく過ごすことができました。この場を借りて感謝申し上げます。

今私が担当している業務で子どもの権利条例の普及啓発があります。現在、7月1日から8月31日までの期間、小・中学生を対象に川柳コンテスト、高校生以上を対象にフォトコンテストを行っています。川柳コンテストでは子どもの本音をテーマに募集しており、すでにたくさんのお子さんの本音を読ませていただきました。子どもの発想や物の見方は大人と違いおもしろいものだなと感じるとともに、子どもの柔軟な思考は大人になっても必要なものだなと学べる部分も多くあります。私も日々の業務で柔軟な思考を持ち、一日でも早く皆さんのお役に立てるよう精進しますので、よろしくお願いいたします。

なお、コンテストは8月31日まで募集を行っているため、小・中学生のお子さんがある方、写真を撮るのが好きな方はぜひこの機会にご参加いただければと思います。

**放送日** 令和4年7月15日（金）

**担当者** 子ども発達支援センター 主任 北野 亜也加

おはようございます。子ども発達支援センターの北野亜也加です。

私は今年度入庁し、本庁の職員の方ともほぼ顔を合わさずに、電話でのやりとりをさせてもらっているのですが、この機会に自己紹介をさせていただきます。

以前は、障害をもった方が生活するグループホームで働いていました。苦手なことは、朝が弱く、テンションが下がりがちになってしまうところで、意識的に笑顔を作り、声のトーンをあげるようにしています。

さて、本日は、最近センターで受けたペアレント・プログラムの研修の話をしていきます。

突然ですが、皆さんは今朝起きることができましたか？仕事へ来ることはできましたか？いつも当たり前に行っていることは、自分のいいところになるそうです。また、私のように朝は弱いけど、起きられているので、自分のいいところや努力しているところと言えます。

このように保護者が自分と子どもの行動を1つ1つ把握し、いいところを見つけ、親子のやりとりがよりよいものへと改善していくようになるのがペアレント・プログラムです。

普段、自分の行動や周りの方の行動を褒める機会は少ないですが、この研修を受けてもっと自分や周りの方を褒めていこうと思いました。

**放送日** 令和4年7月19日（火）  
**担当者** すみれ保育園 保育士 藤原 美喜子

おはようございます。すみれ保育園の藤原美喜子です。4月より、北広島市の職員として新たなスタートとなり、緊張と身の引き締まる思いで一杯です。

子ども達と関わる中で嬉しいことや面白いことが日々起こります。

私が腰をさすっていると「大丈夫？」と腰を撫でてくれたり、友達が泣いていると寄り添い声をかけ頭を撫でてあげる場面に遭遇すると思わず心がほっこりとした気持ちになります。時に悩むこともありますが、その時は職場の先輩や同僚が一つ一つ丁寧に話を聞いて下さり、親身になって励ましを送ってくれるので、私自身も明日からまた頑張ろうという気持ちになります。

今月、運動会がありました。運動会に向けての練習の中で「今日は練習したくない」「虫探ししたい」など練習に気持ちが向かないこともありましたが、一人一人の気持ちを大切に寄り添い、関わったことで「運動会楽しかった」とニコニコの笑顔を見せてくれたことは、私の宝物の一つになりました。子ども達の存在は私にとって何よりも頑張れるエネルギーの源になります。

未来を担っていく大切な子ども達と共に成長していきたいです。

**放送日** 令和4年7月20日（水）  
**担当者** すみれ保育園 保育士 布施 奈那子

おはようございます。子育て支援部すみれ保育園の布施奈那子です。

北広島市に入庁し4か月程が経ちました。1歳児担任となり、元気いっぱいの子どもたちに囲まれながら毎日過ごしています。自然豊かな環境下であるため、天気の良い日は戸外散歩に行き、草花や虫に触れ、遊びを發展しています。日々の保育では、先輩保育士の方だけでなく、子どもから学ぶ事も多く、保育士として様々な事を吸収している毎日です。

そんな日々の中で、嬉しい出来事がいくつかありました。入園当初は人見知りや不安があった子どもたちでしたが、園生活に慣れてくると、私が保育室に入った際に子どもたちが駆け寄ってくれるようになりました。また、「見て見て！」と指差しや言葉で伝えてくれるようにもなりました。その他にも、身の回りの事を一緒に行う中で、喜びや楽しさを沢山共有できるようになりました。

そのような子どもの成長を間近で見られる事が、保育士の一つのやりがいであると感じています。未来を担う子どもたちが笑顔でいられるように、一人ひとりの気付きを大切にし、どのような援助や工夫が必要か悩み、今後も保育士として成長していきたいです。

**放送日** 令和4年7月21日(木)

**担当者** すずらん保育園 保育士 霍田 美希

おはようございます。子育て支援部すずらん保育園の霍田美希です。

4月に入庁し、4か月が経とうとしています。社会人1年目で未熟なことばかりですが、周りの方々に支えてもらい、勉強の毎日です。保育園で働いていると、可愛いこと、面白いことが毎日あります。

ある日、散歩に行きたがらず、玄関で靴を履かない子どもがいました。私は、「靴履こうね。靴を履かないとお外行けないよ。」と声をかけましたが、反応がありません。その時、隣にいた子どもが、その子を見て、おたまじゃくしの方を指さし笑顔で「可愛いね。バイバイ」と言うと、おたまじゃくしにバイバイをして靴を履きだしました。おたまじゃくしを気にしていたことに気づき、笑顔でその子の気持ちに寄り添った関わりにほっとしたのと同時に、私は子どもに寄り添えていたのかと考えるきっかけになりました。

このように、子どもの気持ちに寄り添う保育を行っていくことで、マイナスの言葉がプラスの言葉に変えられることも多く、笑顔や感謝を生む保育になっていくことを学びました。これから、子どもとの一つ一つの関わりを大切にする保育を目指すとともに、保育者として責任をもって保育に臨んでいきたいです。

**放送日** 令和4年7月22日（金）

**担当者** 稲穂保育園 宮崎 愛菜

おはようございます。子育て支援部稲穂保育園の宮崎愛菜です。

新任職員として働き始め、4か月が経ちました。

今年度は0歳児クラスの担任となり、日々可愛い子どもたちの成長を保護者の皆さまと一緒に見守らせていただいています。

0歳児クラスの子どもたちにとって園生活は、初めて家庭や保護者から離れた生活となる為、不安や戸惑いをしっかりと受け止めることを大切にし、安心できる場所作りを考えながら、毎日の保育を行っています。

子どもたちが安心して笑顔でのびのびと保育園生活を送ることが、保護者の方の安心にもつながります。

保育園を信頼し、安心してわが子を預け、働くことができる。それが北広島市の活性化にもつながっていくことでしょう。

一人ひとりに対し丁寧に寄り添い、子どもたちが笑顔で元気に登園してきてくれる毎日に感謝しながら、保育という仕事を通じて市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの一端を担っていきたいと思います。

**放送日** 令和4年7月25日(月)  
**担当者** 庶務課 主事 澤口 健

おはようございます。建設部庶務課の澤口健です。

今年の4月に入庁し、非常に充実した日々を過ごしています。中でも最も印象的な経験が、山菜取りの行方不明者捜索です。行方不明者が発生した翌日の早朝、捜索隊の一員として険しい山中を捜索していると、どこからか「おーい」と微かな声が聞こえました。声が聞こえる方向を捜索した結果、無事、行方不明者の発見に至りました。市職員として、時には市民の命に関わる仕事を担うことを強く意識した出来事でした。

私は建設部庶務課で、用地取得の仕事に携わっています。市の道路や施設を建設する際に必要となる用地を取得する業務です。土地所有者の意向を尊重しつつ、市の事業の目的や必要性をご説明し、納得いただいた上で用地取得を進めることの難しさを実感しています。土地評価や交渉を行う上では、一つ一つの根拠を明確化することを意識しながら業務に取り組んでいきます。周囲の方から多くのことを教えていただいていることに感謝しながら、日々の業務に尽力するだけでなく、災害等が発生した際は、市民の命と安全を守る使命感のもと全力で職務にあたる決意です。



**放送日** 令和4年7月26日（火）  
**担当者** 建築課 技師 石川 茉佑香

おはようございます。今年4月に入庁しました建設部建築課の石川茉佑香です。

現在私は建築課で建築指導や公共建築工事の監督等の仕事に携わらせていただいております。

まず、建築指導は主に住宅を建てる際の建築確認申請の受付・審査や長期優良住宅の受付・認定等、また用途地域や建築基準法に関する質問や相談の対応を業務としており、窓口では市民や不動産事業者の方々と関わる機会が多い業務です。一方、公共建築工事では定期的な現場での打ち合わせや施工状況を確認する等、建設に携わる方々と関わる機会が多い業務だと感じています。

入庁から約4か月、先輩職員の方々に助けていただき、業務を理解してきた面もあれば、まだ手探りな面もあります。また、自身の建築に関する知識不足も改めて痛感しています。現時点で私が携わることが出来る業務は建築課において僅かではありますが、私が教えていただいていることを今後入庁する後輩職員に伝えられるように先輩方から様々なことを学んでいきたいと考えます。

**放送日** 令和4年7月27日（水）  
**担当者** 農政課 主事 大澤 修平

おはようございます。農政課の大澤修平です。4月に入庁し、約4か月が経ちました。私は、5年間別の仕事で前職があります。しかし、前職の時とは全く違う業務でこれまで耳にしたことがない言葉が飛びかっっており、苦勞することもあります。周りの先輩、上司に丁寧に業務を教えてもらいながら業務をこなしていくことが出来ております。

現在、配属されている農政課は特に農家さんとの関わりが多く、知識がないと対応出来ないことも多々あります。そこで私が仕事を行う上で一番気を付けていることは、分からないことを分からないままにしないことです。私は、仕事をこなしていく上で分からないことはしっかりと聞くようにしています。皆さんご存知かと思いますが、ことわざで「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざがあります。知らないことを人に聞くのは、そのときは恥ずかしいと思って、聞かなければ一生知らぬまま過ごすことになるのでそのほうが恥ずかしい、知らないことを恥ずかしがったり知ったかぶったりせずに、素直に聞いて学ぶべきだという意味です。このことわざのように分からないことは分からないままにせずに先輩、上司、市民の方々から知識を吸収し、知識を深め、活気ある職場づくりをしていきたいです。

**放送日** 令和4年7月28日(木)  
**担当者** 経営管理課 主事 東 ひなた

おはようございます。水道部経営管理課の東ひなたです。

今年度4月に入庁し、もうすぐ4か月が経とうとしています。少しずつ仕事には慣れてきましたが、まだまだ分からないことばかりで先輩方に助けてもらってばかりの日々です。

私は現在、水道部内の毎日の収入の計算や支払い業務を行っています。水道部は水道料金や下水道使用料などの日々の収入で経営が成り立っているため、一般会計ではなく公営企業会計です。公営企業会計には簿記2級の内容が含まれています。簿記についての知識が全くない私にとっては経営管理課の業務はとても難しく感じます。公営企業の場合、支払いに誤りがあったとき、ただ修正するのではなく、振替伝票を使ってどのように正しく直すことができるか考えなくてはなりません。今の私には難しいと思うところですが、わかってくるとそこが面白いと思えるところになると主査がおっしゃっていました。今の私が難しいと感じている業務も楽しいものにできるよう、日々努力していきたいと思っています。

**放送日** 令和4年7月29日（金）  
**担当者** 水道施設課 主事 金山 怜央

おはようございます。水道部水道施設課の金山怜央です。

突然ですが皆さん、バタフライ効果をご存じでしょうか？ブラジルの蝶が羽ばたくとアメリカでハリケーンが起きるというものです。蝶が羽ばたくとそれに興味を持った小鹿が何度も飛び跳ね、それに気づいたライオンが小鹿を狙い近づく、それに気づいた鹿の群れが逃げ回ることによって風が起き、その風が海を渡って上昇気流となりアメリカでハリケーンになるという理論です。意味としては小さな出来事が結果として大きな効果をもたらすということです。

これは私たちの仕事でも言える事だと働き始めてから感じました。一人ひとりの仕事の積み重ねや他の課とのつながりが市役所という大きな組織となり、さらに市役所で行われている様々な業務によって北広島市という街ができていると思います。

私はまだまだ蝶のように羽ばたくことはできていませんが、私の仕事が北広島市に良い意味で大きな効果をもたらすきっかけとなれるようこれからも日々頑張りたいと思います。